

<記入例>

一般貨物自動車運送事業の事業計画
(事業用自動車の数) 変更事前届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇運輸局〇〇運輸支局長 殿

届出日を記入
※ 実施予定日の5~10日前

住 所 〇〇県〇〇市〇〇 〇〇〇〇〇
氏名又は名称 株式会社 〇〇〇〇
代 表 者 代表取締役 〇〇 〇〇 印
電 話 (XXX) XXX-XXXX
担 当 者 業務部長 〇〇 〇〇

貨物自動車運送事業法第9条3項及び同法施行規則第6条の規定によりお届けいたします。

<p>1. 住 所 氏名又は名称 代 表 者</p>	<p>〇〇県〇〇市〇〇区〇〇〇〇〇 株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇</p>	
<p>2. 変更しようとする事項</p>	<p>各営業所に配置する事業用自動車の種別ごとの数</p>	
<p>3. 増車(減車)実施予定日</p>	<p>平成〇〇年〇〇月〇〇日</p>	
<p>4. 変更を必要とする理由</p>	<p>(例) 輸送量の増加による車両の増車</p>	<p>支 局 受 理 印</p>

増車の予定日を記入

営業所別の事業用自動車の数
種別（普通自動車）

8ナンバーの車
冷凍冷蔵車、ミキサー車、タンク車、粉流体運搬、塵芥車等の車両

単位（両）

営業所名	内訳	新					旧						
		普通	小型	けん引車	被けん引車	特殊	合計	普通	小型	けん引車	被けん引車	特殊	合計
本社営業所		18				2	20	15					15
合計													

（増車・減車車両の明細）

増車減車の別	所属営業所	内訳	最大積載量	車体の形状	車両数・登録番号等
増車	本社営業所	普通	3700 kg	バン	3
増車	本社営業所	特殊	2500 kg	冷凍冷蔵車	2
			kg		
			kg		
			kg		
			kg		
			kg		
			kg		
			kg		

記載要領

1. 内訳欄は、普通、小型、けん引車、被けん引車等の別を記入する。
2. 車体の形状欄は、キャブオーバー、タンク車、バン、ダンプ、トレーラ等の別を記入する。
3. 車両数・登録番号欄は、増車の場合は車両数を記載し、減車の場合は登録番号を記載する。
4. 記入欄が不足の場合には、別紙に記入し添付する。

(添 付 書 類)

様式－5

1. 認可車庫の位置及び収容能力 (増車営業所分のみ)

営業所名	車 庫 の 位 置	収容能力
本社営業所	〇〇県〇〇市〇〇区〇－〇－1 第一車庫	400 m ²
本社営業所	〇〇県〇〇市〇〇区〇－〇－2 第二車庫	150 m ²
合 計		550 m ²

2. 増車後必要となる車庫面積 (増車営業所分のみ)

■パターンA

3.7トン、2.5トンはともにこのランクに相当

(本社営業所)

積 載 ト ン 数	1両当り 必要収容能力	車両数	必要面積計
7.5 トンを越えるも	38 m ²	両	m ²
2.0 トンロング超～7.5 トンまで	28 m ²	20 両	560 m ²
2.0 トンロング	20 m ²	両	m ²
2.0 トンロングから 7.5 トンまで	15 m ²	両	560 m ²
合 計		20 両	560 m ²

■パターンB

(本社営業所)

積 載 量 別	幅員+0.5m (A)	長さ+0.5m (B)	増車後の車両数 (C)	増車後必要面積 (A×B×C)
3.7 トン・バン	(2.3+0.5) 2.8	(8.7+0.5) 9.2	17 両	(2.8×9.2×17) 438 m ²
2.5 トン・冷凍冷蔵車	(2.3+0.5) 2.8	(8.7+0.5) 9.2	3 両	(2.3×9.2×3) 77 m ²
			両	m ²
合 計	幅員・長さ+0.5m を足した長さを記入		20 両	515 m ²

新しく増える車も含めた車両数

車庫車両配置平面図（車庫の面積に余裕がない場合は、車両配置の平面図を添付）

様式－6

事業者名	株式会社 ○○○○	所属営業所	本社営業所	車庫の名称	第一車庫	認可年月日	○○年○○月○○日
収容能力	400 m ²	車庫の位置	○○県○○市○○区○○○○○				
(認可をもらっている車庫の平面図をコピー貼付)							
事業者名	株式会社 ○○○○	所属営業所	本社営業所	車庫の名称	第二車庫	認可年月日	○○年○○月○○日
収容能力	150 m ²	車庫の位置	○○県○○市○○区○○○○○2				
(認可をもらっている車庫の平面図をコピー貼付)							